

# 《平成30年》第35回宮崎県柔道選手権大会要項(案)

(兼 全日本柔道選手権大会県予選会並びに全日本女子柔道選手権大会県予選会)

- 1 大会趣旨 本大会は、宮崎県内において選抜された選手による各部門の県選手権を競うと共に併せて一般男子及び一般女子については、全日本柔道(女子)選手権大会に連動する九州(女子)柔道選手権大会県代表選手の選考を行う。
- 2 主催 宮崎県柔道連盟 宮崎日日新聞社
- 3 主管 宮崎地区柔道会
- 4 後援 宮崎県教育委員会 公益財団法人宮崎県体育協会 宮崎市  
宮崎県武道協議会 株式会社宮崎放送 株式会社テレビ宮崎
- 5 期日 平成30年2月11日(日)午前9時30分開会(試合開始10:00)
- 6 会場 KIRISHIMA ツワブキ武道館(宮崎市大字熊野 県総合運動公園内)
- 7 出場資格 ①8の部門別に定める選手構成及び各部門選考担当より選考された選手。  
②宮崎県内居住者で平成29年度(公財)全日本柔道連盟登録を完了した者。  
※全柔連未登録で大会出場した場合には、その選手を失格とする。  
③大会要項に定める大会(参加)登録料を納入済みであること。

## 8 部門別

### (1) 男子部門(体重無差別)

- ① 小学5年生以下の部 約32名以内
- ② 小学6年生の部 約32名以内  
県少年学年別柔道大会及び県少年柔道大会等の成績を参考に  
県柔道場連盟選考委員で選出。
- ③ 中学1年生の部 約32名以内
- ④ 中学2年生の部 約32名以内  
秋季大会等を参考に中学体育連盟柔道専門部で選出  
(委任) + 道場関係3~4名
- ⑤ 高校1年生の部 約35名以内
- ⑥ 高校2年生の部 約35名以内  
県下高校新人大会の団体予選リーグ戦2位以上校は、各学年2名以内。  
その他の高校は、各学年1名を選出することが出来る。  
また、特例で実績のある実力選手がいる場合は、監督推薦で1名  
選出できる。
- ⑦ 一般男子の部(九州柔道選手権大会県予選)  
オープン参加とする。県警察、旭化成の選手は、序列をつける。  
平成29年全日本柔道選手権出場者の垣田、穴井選手(旭化成)の2  
名は推薦選手とし、本大会の優勝、第二位、第三位(2名)の入賞者  
4名の選手を加えて計6名が県代表として九州柔道選手権大会【平成  
30年3月4日(日)福岡武道館】への出場権を得る。

### (2) 女子部門(体重無差別)

- ⑧ 小学生の部 32名以内

申込みは、県学年別柔道大会及び県少年柔道大会等の出場者を参考に県柔道場連盟選考委員で選出。体重制限なし。

⑨ 中学生の部 約32名以内

秋季大会を参考に中体連柔道専門部で選出+道場関係 3～6名

⑩ 一般女子の部（九州女子柔道選手権大会県予選）

高校1・2年生は、新人大会成績を参考に高体連柔道専門部で選出+高校3年生及び一般は、オープン参加。

本部門決勝進出者2名が九州女子柔道選手権大会の出場権を得る。

なお、3位決定戦を行い補欠選手も決定する。

(注)選手は平成17年4月1日以降の出生者であって、中学生は九州及び全国大会において第3位以上の入賞者に限る。

9 各部門選考担当者

区分	選考担当者
小学生5年以下の部 小学6年生の部 小学生女子の部	県柔道場連盟から選考された委員で実施し選考する。
中学1年生の部 中学2年生の部 中学生女子の部	県中体連柔道専門部選考委員会委員で実施し選考する。 老部、県柔道場連盟選考委員を含む。
高校1年生の部 高校2年生の部 一般女子の部	県高体連柔道専門部選考委員会委員で実施し選考する。 但し、高校3年及び一般はオープン参加。

10 試合方法 試合は、トーナメント方式によって、各部門の優勝を決定する。

11 審判規定

・試合は国際柔道連盟(IJF)試合審判規定(2017-2020)による。

小学、中学生については国際柔道連盟試合審判規定及び国内における

「少年大会特別規定」を合わせて適用する。(平成27年11月30日甲改正)

・スコアは、「一本」と「技あり」のみとする。「技あり」には、今までの「有効」も含まれる。「技あり」2つでも、「一本」と同等とはしない。

・抑え込み時間は、10秒で「技あり」、20秒で「一本」とする。

・試合の決着は、規定試合時間において、「技あり」もしくは「一本」のテクニカルスコアでのみ決着がつくこととする。直接、もしくは累計による「反則負け」を除き、「指導」(1回目、2回目)の違いだけでは勝者を決定しない。

・ゴールデンスコア(※小学生はGSを行わず、判定により勝敗を決する。)

試合時間が終了した時点で、試合両者にスコアがない場合、もしくはスコアが同等である場合、「指導」の有無にかかわらず、その試合はゴールデンスコアに突入する。ゴールデンスコアに入る前の、試合時間内に与えられたスコア、並びに罰則は、引き続きスコアボードに反映される。スコアが与えられた時点で、ゴールデンスコアは直ちに終了する。ゴールデンスコア中に「指導」が与えられた場合、与えられた選手が相手よりも多くの「指導」を受けたことになる場合、その試合は終了とする。

※なお、全日本柔道選手権の審判規定により、一部変更も有り得ること

から、審判申し合わせ事項により詳細は決定するものとする。

12 試合時間

- ・小、中学生は、3分間。
- ・高校男子、一般女子の部、一般男子の部は4分間とする。

13 出場方法  
及び参加料

(1)各部門（小学生～高校生の部各学年別）の各部門選考担当者が、部門別選考上の協議を実施し、選手を選考後、選手決定文書及び所定の出場申込み書を該当者に送付する。

(2)選考担当者は、選考した選手名簿を平成29年11月15日（水）迄に、県柔連宛送付すること。（11月25日（土）に各地区柔道会へ配布予定のため期日厳守のこと）

(3)出場申込方法（各地区事務局→県柔道連盟事務局あて）

① 小学生～高校生の部

出場申込書及び大会参加料を、各学校や所属団体はそれぞれ一括し、地区柔道会事務局宛に送付する。

② 一般女子の部、一般男子の部出場申込み方法

一般オープン参加者は、出場申込書及び大会参加料を各所属で一括、また個人出場者は直接、地区柔道会事務局宛に送付する。

(4)出場申込み書提出及び大会登録料納入期限（期限厳守）

※各地区柔道会は、出場申込書に、必要な事項の記入（写真一枚：証明写真に準じたもの）漏れはないかを確認して、平成29年12月20日（水）まで下記宛て必着のこと。遅れた場合は参加を認めない。

〒880-0805 宮崎市橘通東1丁目5-8 グリーンリッチ宮崎501号  
宮崎県柔道連盟 事務局 宛 TEL・FAX(0985-26-7415)

(5)大会参加料

選手は出場申込書と同時に参加料一人1000円を各地区事務局に納入し、各地区は、一括、提出期限までに納入すること。

※大会参加料納入後に欠場選手への返金はしないものとする。

(6)傷害保険の任意加入

大会参加料は大会運営費に繰り入れることから、傷害保険には加入しない事としているので各自、任意の傷害保険に加入して対応すること。

地区事務局  
振込先



14 組合せ  
抽選

平成30年1月13日（土）県高等学校柔道選手権大会終了後、KIRISHIMA ツワブキ武道館柔道場役員室にて、選考担当者及び本連盟から

指定された選考委員により厳正に行なう。抽選結果については、県柔連事務局も必要に応じるが、選考担当者が各所属監督、顧問又は選手に連絡広報し、周知させること。

15 表 彰 優勝＝賞状・優勝楯・カップ(メダル) 二位、三位＝賞状・賞品(メダル)

16 問合せ先  
連絡先



17 その他

(1) 試合場におけるコーチの振る舞い

①コーチの場所

原則として各試合場の正面と反対側、又は試合場の横側にコーチ1名を許可する。

②コーチの言動

試合が止まっている間(「待て」から「始め」の間)のみ、選手に対して指示を与えることができる。試合続行中は、選手に対して指示を与えることは禁止とする。

(2) 脳震盪対応について

ジュニア(20歳未満)以下の出場選手には下記条項を適用する。

1 大会1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

2 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。  
(なお、至急、専門医[脳神経外科]の精査を受けること)

(3) 個人情報及び肖像権の保護について

1 個人情報の観点から、参加申込書に記載された個人情報については、本大会を運営する目的以外には一切使用しないものとする。

2 大会会場等において、係員等が撮影した写真や動画については本人の承諾を得ることなく、宮崎日日新聞社、および宮崎県柔道連盟の紙面・ホームページに等に掲載する場合がある。

以上